

# 業務サポートセンター等管理運営業務委託事業候補者選考方針

## 1 基本的事項

業務サポートセンター等管理運営業務委託事業候補者は、共通業務の集約・効率化に係る豊富な実績とノウハウがあり、仕様書の業務を履行できる適切な体制を確保するとともに、区の働きやすい職場づくりの理念を理解し、意欲的に取り組む姿勢を有する事業者であることとします。

## 2 審査の実施方法

プロポーザルの審査を公正に行うため、業務サポートセンター等管理運営業務委託事業候補者選考委員会を設置し、第一次審査及び第二次審査を実施します。審査は点数化して評価します。第一次審査及び第二次審査の結果を総合的に判断し、最も優れていると認められる1者を事業候補者として選考します。

### (1) 第一次審査（書類審査）

参加資格条件を確認し、条件を満たしている事業者について、書類審査を実施します。なお、提案内容には法人の秘密に関する事項が含まれる可能性があるため、審査は非公開で行います。第二次審査に進む第一次審査合格者を2者程度決定します。

第一次審査結果は、平成31年1月30日（水）までに、提案書を提出した全ての事業者（「様式10 プロポーザル参加辞退届」を提出した事業者を除く。）に文書で通知します。

### (2) 第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）

第一次審査を通過した事業者について、プレゼンテーション及びヒアリングを行います。なお、提案内容には法人の秘密に関する事項が含まれる可能性があるため、審査は非公開で行います。所要時間は、30分程度です（説明10分、質疑20分程度。）。

プレゼンテーションは、企画提案書に基づき行います。パソコンを使用することはできません。なお、第二次審査の際は、参加表明書に記載された担当者のほか、仕様書（案）「5 業務時間及びポスト数と各業務の進行管理について」に定める業務責任者も必ず同席してください。その他、第二次審査に係る詳細な事項は、第一次審査通過事業者に別途通知します。

#### ア 実施日時

平成31年2月6日（水）午前10時から

#### イ 実施場所

港区役所

#### ウ 結果通知

平成31年2月7日（木）までに、第二次審査参加者全員に、文書で通知します。

#### エ 審査結果の公表

第一次審査及び第二次審査の結果については、契約締結後、港区ホームページで公表します。なお、事業者名は最終的に選考した事業候補者のみを公表します。

### 3 評価項目及び評価視点

#### (1) 第一次審査

主な評価項目	主な評価視点
事業者及び業務責任者の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業者及び業務責任者の実績</li> <li>・ これまでの実績により培われた経験や知見が、本業務に活用できるものであるか。</li> </ul>
業務実施体制について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務実施体制</li> <li>・ 品質の確保</li> </ul>
企画提案書の内容について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務改善の手法</li> <li>・ 区の働き方改革に向けた取組への寄与と推進</li> <li>・ 職員の利用促進</li> <li>・ 具体的な業務例の質の評価</li> </ul>
見積価額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一次審査の合計評価点のおおよそ 10%</li> </ul>

#### (2) 第二次審査

主な評価項目	主な評価視点
業務趣旨の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区の働き方改革に向けた取組や本業務の目的を適切に理解しているか。</li> </ul>
提案の実現性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案内容は本業務の目的を達成することができる実現性が高いものとなっているか。</li> <li>・ 事業者及び業務責任者等が本業務に必要な経験を十分に持ち、また経験を生かした業務の遂行が期待できるか。</li> </ul>
提案の発展性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案内容から本業務の将来性、創造性、発展性がうかがえ、区民サービスの向上及び区の働きやすい職場づくりの推進に資するものであるか。</li> </ul>
理解・回答力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員からの質問の意図・目的を理解し、的確かつ信頼できる内容で、評価できる回答がなされたか。</li> </ul>
取組意欲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務実施への積極的な意欲がみられ、柔軟性に富んだ誠実な遂行が期待できるか。</li> </ul>

※応募事業者が1者の場合であっても審査を行うこととし、総合点に占める評価点の60%を基準点（最低ライン）と設定します。

※第一次審査と第二次審査の配点比率は、おおよそ2：1

#### 4 ワーク・ライフ・バランス推進企業の評価について

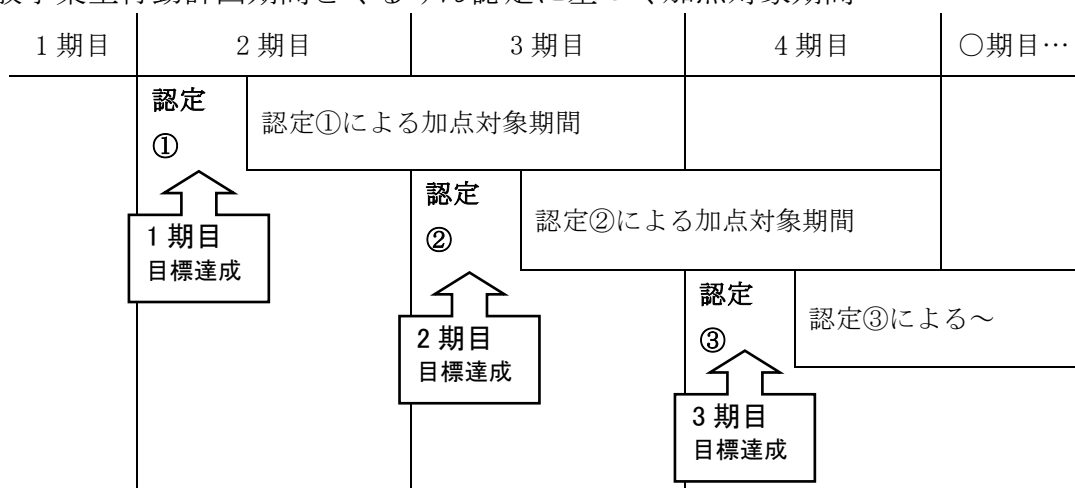
港区では、企業のワーク・ライフ・バランスのより一層の推進を図るため、「ワーク・ライフ・バランス推進」を、プロポーザル選考一次審査における必須の評価項目としています。以下の評価条件に該当する場合に、第一次審査の合計評価点の5%を合計評価点の内数として加点します。

評価条件及び提出書類については、以下のとおりです。

○評価条件及び提出書類

評価条件	提出書類
港区が認定する「港区ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定を受けている場合	認定通知等の写し
東京都（産業労働局）が認定する「東京ライフ・ワークバランス認定企業」として認定を受けている場合	認定通知等の写し
国（厚生労働省）が認定する「子育てサポート企業」として認定（くるみん認定）を受けている場合で、かつ、プロポーザル参加申請時において、くるみん認定日における行動計画又はその次期行動計画の期間内であること（下記図参照）	認定通知等の写し及びプロポーザル参加申請現在の次世代育成法に基づく一般事業主行動計画の期間（年数）を確認できる書類写し等
国（厚生労働省）が認定する「子育てサポート企業」として特例認定（プラチナくるみん認定）を受けている場合	認定通知等の写し

図 一般事業主行動計画期間とくるみん認定に基づく加点対象期間



5 区外事業者の参加について

港区では、区が発注する契約において、区内事業者の受注機会の拡大を図る取組を推進しており、区外事業者がプロポーザルに参加する場合、原則として、「区内事業者と共同すること」を参加条件としています。区内事業者又は区外事業者が区内事業者と共同してプロポーザル選考に参加する場合は、第一次審査の合計評価点の5%を第一次評価点に加点します。

やむを得ず、区外事業者のみで参加申請する場合は、加点対象となりません。

■ 共同の方法：複数事業者による共同事業体の結成

■ 区外事業者のみで参加申請する場合：

「一次審査における合計評価点」の5%加点（小数点以下切上げ）の対象となりません。

共同事業体を結成し、参加申請する場合、適切な共同事業体の名称を設定の上、代表事業者を定め、単独で参加申請するために必要な提出書類に加え、次の書類を提出してください。

共同事業体を構成する全ての事業者が別に示す参加資格に該当することが必要です。代表事業者及び構成事業者の変更は原則として認めません。

<提出書類>

- (1) 共同事業体構成書
- (2) 共同事業体協定書兼委任状
- (3) 委任状（代理人が契約権限を有する場合のみ）

なお、虚偽申請等不正行為が発覚した場合は、事業候補者の取消、指名停止（登録事業者のみ）等のペナルティを課します。

**【区内事業者として扱う事業者】**

- ・ 登記簿上、区内に本店を置く事業者
- ・ 区内に支店又は支社等の営業所を置き営業を行う事業者の場合は、港区における競争入札参加者の選定に係る区内事業者の認定基準（平成 25 年 3 月 14 日港総契第 2801 号）で定める区内事業者

**【区内事業者として扱わない事業者の例】**

支店①は、港区における競争入札参加者の選定に係る区内事業者の認定基準（平成 25 年 3 月 14 日港総契第 2801 号）で定める区内事業者として認定されているが、港区内に所在地を置かない本店又は支店②として申込みがあった場合（共同事業体の構成員である場合も含む。）

6 審査結果の公表等

- (1) 選考終了まで、選考委員名は公表しません。
- (2) 審査結果は全参加事業者に文書で通知します。
- (3) 第一次審査および第二次審査の結果については、事業候補者との契約締結後、平成 31 年 4 月 1 日（月）以降に、港区公式ホームページに公表します。なお、事業者名は最終的に選考した事業候補者のみを公表します。